

令和4年度

各教科の評価について

2 学年 / 2 学期

この冊子には、各教科の『観点別学習状況の評価（A・B・C）』の
評価対象や方法等についてまとめてあります。

★各観点の目標に対して

○十分満足できると判断されるもの → A
(達成率 80%以上の場合)

○概ね満足できると判断されるもの → B
(達成率 50%以上)

○努力を要すると判断されるもの → C
(達成率 50%未満)

★各教科3つの観点別学習状況の評価を総合して、
その教科の『評定（5・4・3・2・1）』が決まります。

令和4年9月

港区立高陵中学校

2年2学期

国語科の評価について

教科担当

大島

評価の観点

・今学期の目標 評価対象 評価方法など

● 知識・技能

以下の学習活動を通し、国語の知識や技能を身につける。

- ・「漢字」…常用漢字を文や文章の中で活用することができる。
- ・「語彙」や「文や文章」…語句の量を増やし、語句について理解を深めることができる。
- ・「表現の技法」…表現の技法についてその名称とともに理解し使うことができる。
- ・「情報に関すること」…様々な媒体から必要な情報を取り出し、情報同士の関係を整理して、発信したい情報を様々な手段で表現することができる。
- ・「伝統的な言語文化」…伝統的な言語文化に親しみ、長く親しまれている言葉や古典の一節を引用して使うことができる。
- ・「書写」…身の回りの多様な表現を通して、効果的に文字を書くことができる。

【評価方法】授業課題（ワークシート）・課題テスト（漢字小テストなど）・定期考査など

● 思考・判断・表現

以下の学習活動を通し、考える力や感じたり想像したりする力を養い、自分の思いを広げたり深めることができる。

- ・「聞くこと・話すこと」…自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫することができる。
- ・「書くこと」…伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫することができる。
- ・「読むこと」…文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方を捉えることができる。

【評価方法】討論や発表・課題作文・授業課題（ワークシートなど）・定期考査

● 主体的に学習に取り組む態度

- ・「文学的文章(登場人物の設定を捉える単元)」では、「登場人物の心情や考え方が表れた語句を抜き出し、印象に残った語句について説明する」言語活動を通して、既存知識を調整しながら課題解決を図るなど、主体的に学習に取り組もうとしている。
- ・「説明的文章(文章の構成や論理の展開を読み取る単元)」では、文章を読み「考えたことを説明したり文章にまとめたりする」言語活動を通して、課題を解決するための粘り強さを養おうとしている。

【評価方法】授業課題（ワークシート）・課題テスト（漢字小テストなど）

【評価例】※「文学的文章(登場人物の設定を捉える単元)」で、「登場人物の心情や考え方が表れた語句を説明する」ことが授業目標の場合

- A…印象に残った語句を、読み手の立場に立ち、説得力を高めるための工夫を取り入れながら（既存知識を調整しながら）、その理由とともに説明しようとしている。
- B…印象に残った語句を、その理由とともに説明しようとしている。

2年2学期

社会科の評価について

評価の観点

・今学期の目標・評価対象・評価方法など

【地理】第3部日本のさまざまな地域 第2章日本の地域的特色 第3章日本の諸地域 第1節九州地方 第2節中国・四国地方
 【歴史】第4章 近世の日本 3節 産業の発達と幕府政治の動き
 第5章 開国と近代日本の歩み 1節 欧米における近代化の進展 2節 欧米の進出と日本の開国 3節 明治維新

● 知識・技能

- 【地理】・日本の地域的特色を、自然環境や人口、資源・エネルギー、産業、交通・通信の視点から、写真、図版、地図、雨温図など、さまざまな資料を適切に選択して読み取り、理解している。
 ・日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解している。
- 【歴史】・産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解している。
 ・社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解している。
 ・欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。
 ・開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解している。
 ・自由民権運動、大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的地位が向上したことを理解している。
- 【評価方法】定期考査、単元テスト、小テスト、ワークシート（レポート）、授業プリント、ICT利用ワーク、発言発表、提出物（宿題等）、行動観察

● 思考・判断・表現

- 【地理】・日本の自然環境や人口、資源・エネルギー、産業、交通・通信などの地域的特色が、どのように変化し、どのような課題を抱えているのか、多面的・多角的に考察し、表現している。
 ・日本の諸地域において、それぞれの地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目し、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。
- 【歴史】・産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、産業の発達と町人文化、幕府政治の展開について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。
 ・工業化の進展と政治や社会の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、欧米における近代社会の成立、アジア諸国の動き、明治維新について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。
 ・明治維新の諸改革の目的、議会政治や外交の展開などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わりについて、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。
- 【評価方法】定期考査、単元テスト、小テスト、ワークシート（レポート）、授業プリント、ICT利用ワーク、発言発表、提出物（宿題等）、行動観察

● 主体的に学習に取り組む態度

- 【地理】・日本の諸地域について、対象地域の特徴を踏まえ、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
- 【歴史】・産業の発達と町人文化、幕府政治の展開について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
 ・欧米における近代社会の成立、アジア諸国の動き、明治維新について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
 ・明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わりについて、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
- 【評価方法】発言発表、行動観察、ノート、ワークシート（レポート）、授業プリント、ICT利用ワーク、提出物（宿題等）

【評価例】単元の学習の振り返り時の記述を基に評価する場合。（ワークシート）

- A…単元の学習を振り返り、学習した内容やそれに関連することの中からこれからも追究していきたいことを挙げるとともに、その意義を簡単に記述し、さらに妥当性のある根拠をもった具体的な解決策を提案したりするなど、質的な高まりや深まりをもとうとしている。
- B…単元の学習を振り返り、学習した内容やそれに関連することの中からこれからも追究していきたいことを挙げるとともに、その意義を簡単に記述しようとしている。

2年2学期

数学科の評価について

教科担当

和田・大久保・桑原

評価の観点

・今学期の目標・評価対象・評価方法など

- 3章 関数を利用して問題を解決しよう〔1次関数〕
 4章 図形の性質の調べ方を考えよう〔平行と合同〕
 5章 図形の性質を見つけて証明しよう〔三角形と四角形〕

● 知識・技能

- ・1次関数のグラフを利用して問題を解決できることや、グラフのよさを理解している。
- ・対頂角、同位角、錯角の意味を理解している。
- ・三角形の合同条件を利用して、2つの三角形が合同かどうかを判断することができる。
- ・平行四辺形の定義と性質を理解している。
- ・平行線の性質を利用して、図形を等積変形することができる。

【評価方法】

単元テスト、定期考査、行動観察、ワークシート

● 思考・判断・表現

- ・具体的な事象の中の2つの数量の間の関係を、変域によって場合分けをして考え、説明することができる。
- ・証明の根拠となることがらを明らかにして、簡単な図形の性質を証明することができる。
- ・平行四辺形の性質を利用して、図形の性質を証明することができる。
- ・平行線の性質を利用して、図形を等積変形する方法を考え、説明することができる。

【評価方法】

単元テスト、定期考査、行動観察、ワークシート

● 主体的に学習に取り組む態度

- ・1次関数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。
- ・三角形の合同条件を学習に生かそうとしている。
- ・平面図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
- ・毎時間の授業に積極的に参加し、数学を活用して、問題解決に向けて積極的に取り組もうとする。
- ・分からない問題に対し質問をしたり、話し合いをしたりすることで粘り強く考察し、解決しようとしている。
- ・ワークシートを工夫しながら書いている。
- ・課題などの提出物に粘り強く取り組み、分からない問題は繰り返し解くことで理解を深め、自らの学習を調整しようとしている。

【評価方法】

単元テスト、行動観察、ワークシート、振り返りシート

【評価例】

1つの問題に対するいくつかの解き方を比較し、自分なりの考察を加えて、残した記述をもとに評価する場合。(ワークシート)

A・・・複数の解決方法に対して自分なりの考察を加え、より良い方法を理由とともに記述しようとしている。

B・・・複数の解決方法があることを理解しようとしている。

2年2学期

理科の評価について

教科担当

儀保・清水

評価の観点 と今学期の目標・評価対象・評価方法など

● 知識・技能

- ・気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、気象要素、気象観測についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。
- ・植物や動物の体のつくりとはたらきとの関係に着目しながら、葉・茎・根のつくりとはたらき、生命を維持するはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。

【評価方法】

小テスト、ノート、レポート、ワークシート、小テスト、定期考査、行動観察など

● 思考・判断・表現

- ・気象観測や天気の変化、日本の気象、自然の恵みと気象災害について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化についての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。
- ・植物や動物の体のつくりとはたらきについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、植物の体のつくりとはたらき、生命を維持するはたらきについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。

【評価方法】

小テスト、ノート、レポート、ワークシート、定期考査など

● 主体的に学習に取り組む態度

- ・気象に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど科学的に探究しようとしている。
- ・植物や動物の体のつくりとはたらきに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

【評価方法】

小テスト、自己評価、ノート、レポート、ワークシート、課題提出、発言・発表、行動観察など

【評価例】

気象要素と天気の変化について学んだことを生かし、天気図から次の日の天気を予想する課題で、ワークシートの記述を基に評価する場合。

A…学習前後を振り返って、対話を通して、課題を解決しようとしており、学習前後における変容を具体的に記述している。

B…学習前後を振り返って、対話を通して、課題を解決しようとしている。

2年2学期

音楽科の評価について

教科担当

山 崎

評価の観点

・今学期の目標・評価対象・評価方法など

歌唱【夏の思い出】 【Joyful Joyful】

◎ガイダンス ◎パートの役割を理解して、歌唱表現を工夫しよう

鑑賞【アイーダ】

◎オペラの特徴を理解し、その魅力を知ろう

器楽【虹の彼方に】 【われは海の子】

◎曲想を感じ取って、器楽表現を工夫しよう

合唱【合唱コンクール課題曲】 ◎曲想と歌詞の内容との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう

● 知識・技能

- ・ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。
- ・ 全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表すことができる。
- ・ 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表すことができる。
- ・ 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり、楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。
- ・ 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表すことができる。

【評価方法】 定期考査 行動記録 iPadによる記録 スクールタクト ワーク

● 思考・判断・表現

- ・ リズム、テクスチャ、構成について理解し、それらを曲の中から見つけることができ、書き込むことができる。
- ・ 音色、リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現や器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもち、説明することができる。
- ・ 音色、リズム、旋律、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。

【評価方法】 定期考査 まなびポケット記入 ワーク iPadによる記録

● 主体的に学習に取り組む態度

- ・ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

【評価方法】 定期考査 行動観察 iPadによる学習の成果の変化

【評価例】

○教科書・ワーク・楽譜・まなびポケット提出

A・・・工夫しようとしている（自分で調べたこと、友達の意見、色を使っている）

B・・・学んだことを書き込もうとしている。

○iPadによる学習の成果の記録

A・・・最初に録音したものと学習を深めた後の録音で変化をつけている。

B・・・最初に録音したものと学習を深めた後で変化はわからないが言葉で伝えようとしている。

2年2学期

美術科の評価について

伊 藤

評価の観点

・ 今学期の目標・評価対象・評価方法など

・ 知識・技能

- ・ 造形的な見方、考え方を働かせて、表現の技能を身につけ、意図に応じて表現方法を工夫し、創造的に表現することができる。
- ・ ポスターによって意図が多くの人に伝わるように、効果的に表現する。
- ・ 作業手順を理解し、計画に合わせて表現の工夫をしながら、的確に作業を進める。
- ・ リズムやバランスなどの美的秩序を考えて、変化と統一のある平面構成をする。
- ・ 色彩による効果を十分に理解し、適切な絵の具の使い方をしている。
- ・ 意図したことが伝わるように必要な修正を加え、作品を完成させている。
- ・ 西洋美術史の概要を把握している。

・ 思考・判断・表現

- ・ 感性や想像力を働かせて豊かに発想し、視覚的效果や美しさを考えて創造的に表現の構想を練っている。
- ・ わかりやすさや美しさを意識してポスターの構想を練る。
- ・ レイアウトや色彩の生かし方を考えている。
- ・ 多様な可能性（複数のアイデア）を検討し、最善の表現のための構想を練っている。
- ・ 感性や想像力を働かせて、美術作品や参考資料などから発想を得たり、美しさを味わったりすることができる。
- ・ 美術文化や表現様式に対して、見方や感じ方を深めている。
- ・ 西洋美術史の概要を把握し、各時代の特徴やよさを味わうことができる。
- ・ 自己の作品も客観的に判断し、参考作品から学んだことなどを生かしている。

・ 主体的に学習に取り組む態度

- ・ 創造活動の喜びを味わい、主体的に表現や鑑賞の学習に取り組もうとしている。
- ・ ポスター制作において、視覚を通して伝えることの楽しさに関心を持とうとしている。
- ・ 丁寧に根気よくデザインの制作しようとしている。
- ・ 構成の基本を学び、より美しい構成を持ったデザインを表現しようとしている。
- ・ 授業や課題には積極的に取り組み、意欲的に作業をしたり発言しようとしている。
- ・ 作品の完成度を高めるために創意工夫をし、最後まで根気よく丁寧に制作しようとしている。
- ・ 美術の準備、後片付けができ、作業時間を有効に利用しようとしている。
- ・ 忘れ物をしない。提出物の提出期限を守ろうとしている。

今学期の主な評価対象

- ・ 授業への取り組み方
- ・ アイデアスケッチ
- ・ 作品
- ・ 期末考査

2年2学期

保健体育科の評価について

教科担当

菅谷・服部

評価の観点 今学期の目標・評価対象・評価方法など

陸上競技（走り高跳び）・水泳・器械運動（跳び箱）
 球技（ソフトボール・バレーボール・バスケットボール）
 体育理論（運動やスポーツの学び方）・保健（生活習慣の健康への影響）

● 知識・技能

○知識

- ・各種目の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。（陸上競技・水泳・器械運動・球技）
- ・運動やスポーツの学び方について理解している。（体育理論）
- ・喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、心身に様々な影響を与え、健康を損なう原因となること。また、これらの行為は、個人の心理状態や人間関係、社会環境が影響することから、それぞれの要因に適切に対処する必要があることを理解している。（保健）

○技能

- ・リズムカルな助走から力強く踏み切って大きな動作で跳ぶことができる。（走り高跳び）
- ・手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。（水泳）
- ・切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うことができる。（跳び箱）
- ・基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防をすることができる。（ソフトボール）
- ・ボール操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。（バレーボール）
- ・ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすることができる。（バスケットボール）

● 思考・判断・表現

- ・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。（陸上競技・水泳・器械運動・球技）
- ・運動やスポーツの学び方について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。（体育理論）
- ・健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現している。（保健）

● 主体的に学習に取り組む態度

- ・陸上競技、水泳、球技、器械運動、体育理論、保健の学習に積極的に取り組もうとしている。
- ・勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとしている。
- ・用具等の準備や後片付け、記録などの分担した役割を果たそうとしている。
- ・マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。
- ・作戦などについての話合いに参加しようとしている。
- ・練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。
- ・健康・安全に留意しようとしている。

【評価方法】 行動観察 ・ 学習カード ・ 実技テスト ・ 期末考査

【評価例】 用具等の準備や後片付け、記録などの分担した役割を果たそうとしている様子を観察して評価する場合。

A・・・用具等の準備や後片付け、記録などの分担した役割を常に果たそうとしている

B・・・用具等の準備や後片付け、記録などの分担した役割を果たそうとしている。

2年2学期

技術科の評価について

評価の観点

・今学期の目標・評価対象・評価方法など

○エネルギー変換に関する技術

- ・はんだを用いた実習
- ・電気素子などの電気的特性を理解する。

● 知識・技能

- ・はんだを用いたBluetoothラジオの作成。
- ・電気素子の特性を理解している。

【評価方法】

定期考査, 行動観察, ワークシート, 小テスト, 作品

● 思考・判断・表現

- ・実習の際に手順などを考えて、先を見据えて作品を作ることができる。
- ・毎回の授業で学んだことをまとめ、表現することができる。

【評価方法】

定期考査, 行動観察, ワークシート, 作品

● 主体的に学習に取り組む態度

- ・実習の際に、自分の作業ペースを考えながら、毎回適切な目標を立てようとして、それを達成するために、粘り強く作業に取り組もうとしている。
- ・積極的に社会的な課題やSDGsなどについて考え、それを解決するためにはどのようなことができるかなどを考え、探求しようとしている。

【評価方法】

行動観察, ワークシート, 定期テスト, 作品

【評価例】

作品づくりをする際の最初の目標設定と最後の振り返りで評価する場合。(ワークシート)

- A・・・自分の作業ペースを考えながら、その日の目標を具体的に立てることができ、振り返りの際に達成・未達成にかかわらずなぜこの結果になったのか記入しようとしている。
- B・・・その日の最初に目標を立てることができ、振り返りの際に、達成できたが未達成だったのか記入しようとしている。

2年2学期

家庭科の評価について

教科担当

井上

評価の観点

・今学期の目標・評価対象・評価方法など

1編 3章 調理と食文化
4編 1章 消費者としての自覚をもとう

● 知識・技能

- ・食品や調理器具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに適切にできる。
- ・食材ごとに適した調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。
- ・持続可能な食生活に関する課題について理解している。
- ・物資・サービスについて理解している。
- ・売買契約の仕組みについて理解している。
- ・購入方法や支払い方法の特徴を理解している。

【評価方法】

定期考査・行動観察・ワーク・作品・実技試験

● 思考・判断・表現

- ・食品の選択について、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
- ・持続可能な食生活を目指して、課題とその解決方法について考え、工夫している。
- ・購入方法と支払い方法のそれぞれの特徴を考え、状況に応じて判断している。

【評価方法】

定期考査・行動観察・ワーク

● 主体的に学習に取り組む態度

- ・よりよい食生活を目指して、食事の役割や栄養、献立、調理などについて工夫し、創造、実践しようとしている。
- ・計画的な金銭管理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善しようとしたりして生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

【評価方法】

行動観察・ワーク・振り返りシート

【評価例】

課題に対して自分で立てた計画や考えを振り返り、自分なりの考察を加えて残した記述をもとに評価をする場合。

- A…自分の計画や考えを振り返り、他の生徒のアドバイスなどを参考に、向上心を持ち自ら取り組むなど具体的な解決策を考え、実生活に生かそうとすることが伝わる記述や作品作りをすることができる。
- B…自分の計画や考えを振り返り、他の生徒のアドバイスなどがあることを理解することができる。

2年2学期

英語科の評価について

教科担当 細野
石川・檜原・小野

評価の観点 ・ 今学期の目標・評価対象・評価方法など

- Unit 4 ・ ホームステイについてしなければいけないこと、してはいけないことを理解したり伝えることができる。
 ・ 自分の家や学校のルールを伝え合ったり、書いたりすることができる。
- Unit 5 ・ 身近なものやことについての使い方ややり方を説明したり、自分の考えを述べることができる。
 ・ 誰もが暮らしやすい社会について書かれた文章の概要をとらえ、感想や考えを伝え合うことができる。
- Let's Listen 4 ・ 電車の運行情報を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。
- Let's Talk 3 ・ 乗り物での生き方を尋ねたり、答えたりすることができる。
- Unit 6 ・ 身近なことについて、特徴を比較しながら説明することができる。
 ・ 身近な事柄について調査を行い、英語で発表することができる。
- Let's Talk 4 自分の好みや要望を伝えながら買い物をすることができる。

【知識・技能】

- have to / don't have to の使い方について理解し、正しく使うことができる。
- must / mustn't / should / may 等の助動詞の使い方について理解し、正しく使うことができる。
- have to / don't have to / must / mustn't を使った英文を読んで、内容を正しく理解したり、正しく音読したりすることができる。
- 動名詞を用いた文の形、意味、用法を理解し、正しく使うことができる。
- 不定詞の三用法の使い方について理解し、正しく使うことができる。
- 疑問詞＋不定詞の使い方について理解し、正しく使うことができる。
- 複数のものを比べた結果を理解したり、説明したりできる。
- 電車の運行情報を聞き、話の内容を理解したりすることができる。
- 乗り物での行き方を尋ねたり、説明することができる。
- 比較表現 er...than / the ...estの使い方について理解し、正しく使えている。
- 比較表現 asas の使い方について理解し、正しく使えている。
- 比較表現 more...than / the most ...を使った英文を読んで、内容を正しく理解したり、正しく音読したりすることができる。
- Shall I..?の使い方について理解し、正しく使えている。

【思考・判断・表現】

- ホームステイでしなければならないこと、してはいけないことを理解したり、伝えたりしている。
- 自分のスケジュールや学校や家のルールについて、伝え合ったり書いたりしている。
- 日本に来る外国人に知ってもらうために、日本の習慣やマナーについて、簡単な語句や文を用いて、伝え合ったり書いたりしている。
- 日米の生活習慣や文化の違いを知り、相手の気持ちを考えて解決策を考え、書いている。
- 将来の自分に向けたメッセージを伝えたりしている。
- お互いの好きなことや得意なこと、向いていると思える仕事を理由と共に伝え合っている。
- 電車が遅延している状態で、目的地に行くために必要な情報を運行状況のアナウンスから聞き取っている。
- クラスで人気のあるものを調べ、その結果を聞き手を意識して発表している。

【主体的に学習に取り組む態度】

- 習った表現を活用して、自己表現しようとしている。
- スピーチの内容が友達に伝わるように、声の大きさや発音、イントネーション、アイコンタクトなどに配慮している。
- (評価方法) ・ チェックリスト、行動観察、ワークブック、ワークシート、ノートチェック、単語テスト等
- (評価例) 「A」 積極的に絵の説明を聞いて、どの絵のことを説明しているか考えようとしている。
- 「B」 スピーチの内容が友達に伝わるように、声の大きさや発音、イントネーション、アイコンタクトなどに配慮している。
- 人の話している内容を聞いて、自分の表現を高めようと積極的に活用しようとしている。